

## 横浜市の今後の駐車場対策について

## 【御報告】

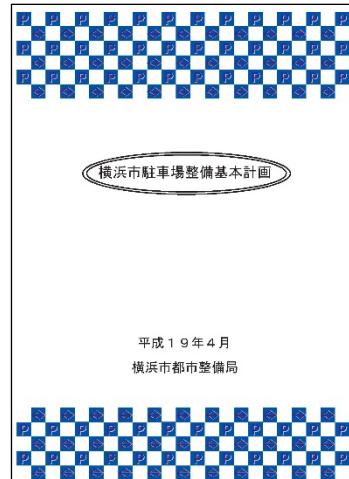
- 1 社会情勢の変化等を踏まえ、今後の駐車場対策の方向性を検討します。
- 2 駐車場整備地区内の駐車需要の調査に取り組み、調査結果などを踏まえ、今後の駐車場対策の方向性を令和6年度に整理します。
- 3 方向性については、本協議会からも御意見をいただいて固めていきます。

## ●これまでの駐車場対策

市全域を対象に駐車場対策の基本的な考え方を示す「横浜市駐車場整備基本計画」を平成19年に改定し、計画に沿った施策に取り組んできました。

## 【主な取組】

- ・附置義務制度の見直し
  - －附置義務駐車台数原単位の緩和
  - －隔地駐車場の設置の柔軟化
  - －地域ルールの導入
    - (附置義務駐車台数原単位・隔地駐車場)
    - －荷捌き車室の附置義務化
    - －自動二輪車車室の附置義務化
- ・観光バス駐車場の整備（花園橋観光バス駐車場）
- ・駐車場案内システムの高度化（インターネット配信）



## ●主な社会情勢等の変化と検討することが求められる方向性

主な社会情勢等の変化	検討することが求められる方向性
(1) 人口減少	駐車需給バランスの適正化、駐車場利用の効率化、配置の適正化、駐車場の活用など
(2) 自動車利用割合の減少	公共交通利用促進、EV・PHV導入促進など
(3) 移動手段の多様化	パーキングパーミット制度導入、駐車場の保守点検の徹底など
(4) 世界的な脱炭素化の推進	パーキングパーミット制度導入、駐車場の保守点検の徹底など
(5) 利用しやすさのニーズの高まり	バレーパーキング導入促進、IoT・ICT等で蓄積される各種データの活用など
(6) 新技術の登場	バレーパーキング導入促進、IoT・ICT等で蓄積される各種データの活用など

## ●今後の進め方

令和6年度 駐車場整備地区（一部）の駐車需要の調査

有識者等のご意見聴取

駐車場対策の方向性（案）の整理

本協議会へのご報告・ご意見聴取

7年度以降 庁内調整、意見募集、横浜市駐車場整備基本計画の改定（予定）